様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 人参（トンネル春どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり　海上野菜組合産直部

１．土づくり

・完熟堆肥、または緑肥を施用し、土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を行う。

２．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守　**化学肥料窒素成分使用量　10kg／10a以下**

	肥料名	施肥量
基肥	①スーパー人参ブリケット（6-8-8　有機態窒素　3.6 ）	200kg／10a以下
	②エコレット866（8－6－6　有機態窒素4.1）	200kg／10a以下
	③ちばみどり有機888（8－8－8　有機態窒素 1.2）	140kg／10a以下
	苦土石灰（アルカリ分55%）	80kg／10a以下
※必要に応じて施用	苦土重焼燐（0-35-0）	80kg／10a以下
	マルチサポート1号（総合微量要素）	60kg／10a以下
	※土壌分析により施肥量を加減する。	

３．防除　**化学合成農薬　6成分回数まで**

（Zﾎﾞﾙﾄﾞｰ・ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤・ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水和剤・ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤・ジーファイン水和剤・カスミンボルドーは化学合成農薬に含めない）

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈　倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
12月上旬	ロータリー	（センチュウ・ネキリムシ）（黒葉枯病）（鱗翅目害虫）	①ﾈﾏﾄﾘﾝｴｰｽ粒剤	は種前 15～20kg/10a	1回	ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ	ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳの多い圃場は作付けを避ける
中旬							
下旬	施肥						
1月上旬	は種 ﾄﾝﾈﾙ被覆		②フォース粒剤	は種時 4kg/10a 作条土壌混和	1回	ネキリムシ類	圃場周辺の除草を実施し、雑草・害虫の発生を低減させること。
				は種前 4～12kg/10a 全面土壌混和			
2月							ｽﾄﾛﾋﾞｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ 2000～3000倍　（収穫7日前・3回） ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤 1000倍～1500倍（斑点病対策含む）（収穫14日前・4回）
3月上旬	間引き						
中旬	換気						
下旬	機械除草						
4月上旬	トンネル除去		③ベルクート水和剤	1000倍（収穫14日前迄）	5回	菌核病	ｱﾌﾞﾗﾑｼ類防除剤 スタークル顆粒水溶剤 2000倍　（収穫7日前・2回）
				500～1000倍（収穫14日前迄）		黒葉枯病	
中旬			ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍（収穫前日迄）	―	オオタバコガ	※化学合成農薬に含まれない農薬 黒葉枯病防除剤 発生が見られた場合： ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ 1000倍（収穫7日前・2回） Zボルドー　500倍 ｾﾞﾝﾀｰﾘ顆粒水和剤 1000倍　（収穫前日・ｰ） ジーファイン水和剤 うどんこ病750～1000倍 白さび病1000倍 （収穫前日・ｰ） ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水和剤　500倍 （収穫7日前・5回） ｽﾋﾟﾉｴｰｽ顆粒水和剤 5000倍　（収穫3日前・3回）
下旬			④アファーム乳剤	2000倍（収穫前日迄）	3回	ハモグリバエ類	
5月上旬	収穫		カスミンボルドー	1000倍（収穫7日前迄）	2回	黒葉枯病	
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準